

うだぢから

「うだぢから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。
 市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

1 大宇陀連合自治会・大宇陀まちづくり協議会 合同研修会を開催

大宇陀市内のまち協(大宇陀連合自治会)の8つのまち協と連合自治会の合同研修会の取り組みとして、朝日放送アナウンサー岩本計介氏の講演会を開催しました。当日は、約350人が来場し、「人生は敗者復活戦」がテーマの、岩本氏の挫折と再挑戦の歩みのお話に耳を傾けました。岩本氏は、母親の故郷である大宇陀との縁や、高校・



▲講演中!

大学受験の失敗、浪人などを通して、朝日放送のアナウンサーとなった経験振り返り、「失敗しても大丈夫。ご縁を大切に、目の前のことに全力で取り組むことが大切」と力強いメッセージを送られました。質疑応答では、中学時代の恩師との再会や、アナウンサー志望の女子高校生への丁寧な助言もあり、会場は温かい雰囲気になりました。参加された方々は、前向きな気持ちで胸に会場を後にされたことと思います。



▲熱心に話を聞く皆さん

2 園児たちとのふれあい

菟田野まち協

1月9日(金)、菟田野こども園から招待を受けて当まち協の11人が訪問し、園児たちと一緒に楽しい時間を過ごしました。この日は、昔ながらの遊びを通じて園児たちとふれあう交流会が行われ、園児とともにコマ回し、羽子板遊び、カルタ遊びなどを楽しみました。



▲コマがうまく回ったよ



▲プレゼントをどうぞ

元気がいっぱい園児たちとの遊びに、すっかり夢中になりましたが、園児たちのエネルギーに圧倒され、終わる頃には疲れ切っていました。最後に園児たちから心のこもったプレゼントをいただき、感動と喜びでいっぱいになりました。この心温まる交流を通して、地域の未来を担う子どもたちの存在を改めて感じることができました。少子化が進むなか、このような世代を超えた交流の場を大切に、地域全体で子どもたちを支え育てていくことが重要です。当まち協では、今後も地域の子どもたちとの関わりを深め、活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

3 6年振りのクリスマス会

室生大野まち協

令和7年12月20日(土)、当まち協の拠点である大野地区公民館で、6年振りにクリスマス会を開催しました。この事業は、コロナ禍の影響により長らく中止していましたが、より多くの方に公民館を利用していただきたいの思いから再開したものです。公民館が、「人々が集い、地域を見守り、賑わいと活性化につながる場」となり、人と人がつながり活動の中心の場所となることを目指しています。



▲囲碁ボール大会

今回は、当館を週2回ご利用されている、いきいき百歳体操メンバーの方を中心にお声掛けして40人の参加がありました。



▲電子オルガンの演奏

当日は、まず皆さんで元気に百歳体操を行った後、昼食をとりました。次に、電子オルガンの生演奏に合わせて楽しく歌を歌い、その後グループに分かれて囲碁ボール大会を実施しました。最後はクリスマス会らしくケーキと飲み物のセットによる「おもてなし」もあり、盛りだくさんの内容に多くの参加者から好評の声がいただきました。今後、地域が明るくいいきと過ごせるよう、当まち協は地域と協力しながら活動を継続していきたいと考えています。



レンギョウ

レンギョウの花が盛りです。黄色い花は遠くから見られて華やかです。花は数多く咲きますので、それを採集し、容器に花弁と砂糖と水(花弁は押さえつけて容器の半分程度、砂糖は500mlの容器で200〜500g程度)を入れて時々かき混ぜていると、少しにごった黄色のお酒ができます。花弁のかき揚げを作って食べるのも良いですよ。レンギョウは、果実が連翹といって漢方薬として利用されます。果実が付いたら、夏の成熟前に採集し、茶褐色になる

まで日に干すと、生薬になります。神農本草経に収載されている生薬で、1日10gを煎じて服用すれば、消炎、解毒、排膿、解熱、利尿、通経剤となり腫れものや疥癬などの皮膚病にも効果があります。また、果実酒には胆汁の分泌を促進する作用があります。挿し木で増やすことができますので、割と簡単に苗ができます。ご自宅にない方は、挿し穂をもらって挑戦してみてください。



※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075